



## 煩惱をダブルクリック神の留守

遠藤真太郎

神様が出雲にお出かけの間は、のびのびと煩惱を開放するのだ。パソコンの中の文書やフォルダーを開く時に、マウスをダブルクリックするように。



## 学食のカレー不味くも天高し

敷島鐵嶺

学食のカレーは、やたら辛くて肉も野菜も少ない。味よりも安さを優先するから仕方ない。贅沢はできないが、学生には若さと希望がある。



## そうか夜露に濡れて我を待つか

沖枇杷夫

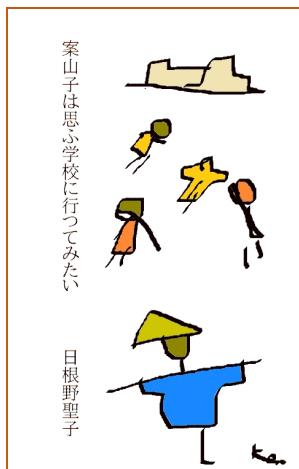
こんな台詞を言ってみたいものだが、夜露に濡れながらもじつと恋人を待つのは、昭和世代の人だけかも。今はLINEで「遅れるなら帰るわね」。



## 国道二四六沿いの神社へ七五三

奥野元喜

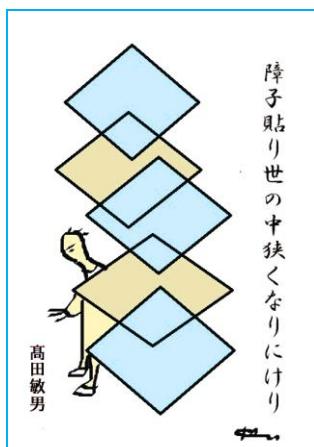
数字を使って面白い句になった。句にまとまるまで四苦八苦、七転八倒したかもしれない。滑稽俳句大賞に応募して一攫千金を狙ってください。



## 案山子は思ふ学校に行つてみたい

日根野聖子

案山子は、役目が終れば捨て案山子にされる。人間の子はいいなあ、友達がいていいなあ。よくぞ案山子の気持ちになりましたね。優しい滑稽句。



## 障子貼り世の中狭くなりにけり

高田敏男

障子を貼り終えると、すべての障子を閉めきって出来栄えを眺める。夏の間は開け放したままにしていたが、これからは世間と隔絶するのである。